



### ◆ Chromebook 利用の見守りについて

三原小では、現在、発達段階に応じながら、全学年で Chromebook の持ち帰りを行っています。一人一台端末の活用は全国的な取組で、長崎市の重点施策の一つでもあります。今までは簡単にできなかった遠方の方との交流を行ったり、インターネットの検索により学びに加速的な広がりが見られたりするようになりました。また、授業では短時間に子どもたち全員の意思や考えを確認したり、距離や時間の壁を取り払って対話的な学びで考えを深めたりすることができるようになりました。各学級でもどんどん活用が進み、日々、「主体的で、対話的な、深い学び」に近付いていっています。



一方、光があれば闇もあります。全国では、児童によるネットでの誹謗中傷やいじめ、自殺、家出等につながる書き込みを行うなどが問題としてあがっています。また、長時間ディスプレイを見ることでの目の健康を損なう恐れがあること、「学習の道具」としてではなく「ゲーム機」としての認識からくる間違った使用方法（自分仕様にカスタムする、学習に関係ないことの検索など）、借用品を乱雑に扱うことによる破損など、残念ですが、マイナス面も無きにしも非ずです。

ここで考えていただきたいのは、「インターネットは悪！」「Chromebook があるから悪い！」なのでしょうか。「インターネット」や「Chromebook」そのものは便利な仕組み・道具です。特にインターネットが出てきてから、世界は一気に狭くなり、身近に感じるようになりました。それを諸悪の根源にしてしまうのか、未来につながる便利な道具として活用するのは、使う人間に委ねられています。使う人間のマナー・良識が大切なのです。生まれたときにはインターネットも SNS も、スマホもタブレットも身近にあったデジタル・ネイティブの子どもたちは、これらのものを避けて通ることはできません。**デジタル・シチズンシップ教育【デジタルツールを用いて責任ある市民として社会に参加するための知識や能力を学ぶ教育】**を学校と保護者のみなさんと一体となって進めていきたいと思っています。

#### <学校>のルール・提案

- ㊦「学習の道具なので、関係ない」①インターネットサイトには、アクセスしません。②データ(含む 写真)を保存しません。
- ㊦「借りているものなので」、①設定は変更しません(カスタムしない)。
  - ②ケース・ランドセルに必ず入れて使います。
  - ③学校・家庭での使用を原則とします。ただし、親戚宅など保護者の責任の下、預け先に学習者パソコンを持っていき、Wi-Fi 環境につなげるなどして使用することに問題はありませぬ。また、校長が許可した校外学習においては使用できることとしています。
- ㊦「健康が1番なので」、①寝る1時間前には使用を止めます。②端末と画面との距離は30cm以上あけます。
  - ③30分に1回は、20秒以上、画面から目を離したり、体を軽く動かしたりします。
- ㊦「相手も自分と同じように大切だから」、①写真や動画は、相手の許可を取ってから撮ります。
  - ②自分や周りの人の情報は教えません。(個人情報 名前、住所、電話番号、家族のことなど)
  - ③人がいやがることや、うそを書きません。
- ㊦タイピングは「学習」ではなく、それを支える「技術」の習得です。1度に30分以上行ってもあまり効果はありません。30分以内を続けることが大切です。なお、学校で推奨しているのは「マイタイピング」です。長崎市でタイピングコンテストも行われ、上位入賞者は表彰もされます。他に「プレイグラム」「タイピングーZ」なども使用可です。

#### <家庭>にお願いしたいこと

初めての持ち帰り時に作成していただいた「令和4年度 GIGA 家庭ルール」を目に見えるところに掲示していただき、再度家族で御確認ください。

#### <長崎市>が行っている対策

- ① 学習者用パソコンを学習以外の目的で使った場合、フィルタリング学習者用により検知され、教育委員会から学校へ連絡があること。学習者用パソコンで利用したすべての検索履歴やメール等のデータは記録されており、教育委員会が確認できること(不適切な書き込みや不適切なサイトへのアクセス等の禁止)。
- ② <夏季休業中>
  - ・23時～5時 インターネット利用不可(オフラインでの利用は可能)
  - ・終日 YouTube などの動画配信サイト利用不可